

甲南大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2020年度>

<改善報告書検討実施年度：2024年度>

甲南大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、2点の改善課題について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた大学全体の取り組み>

大学評価（認証評価）結果を受けて、学長、副学長等で構成する大学執行部において「改善課題」となった「内部質保証と中期計画の連関性」及び「大学院における定員充足率」について対応策を検討し、「学内PDCAサイクル検討クロスファンクショナルチーム」及び「大学院充実化タスクフォース」を設置して改善に取り組んだ。特に2023年度から教学と法人の中期計画に基づいた各年度の計画策定及び結果の確認・検証を実施するKONAN-PDCAサイクル様式及び運用方法を取りまとめた「KONAN-PDCAサイクルガイドライン」を導入し、全学的な改善の推進に取り組んでいる。また、外部評価として、連携する他大学との相互評価体制を構築し、2023年度には計3つの大学での相互評価を実施し、「改善課題」に対する対応状況について、評価を受けた。

なお、今回の改善報告書において課題として残っている点については、引き続き改善に取り組むことが求められる。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているとはいいがたい。

改善課題については、内部質保証におけるPDCAサイクルを大学全体の中期計画へ結び付けていくサイクルフロー等の問題や学生の受け入れにおける定員管理の問題に関して、今後もさらなる改善に努めることが求められる。

個別の提言への改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、各提言に対する検討所見のとおりである。なお、前回の大学評価時には指摘対象となっていなかった事項について、今回の改善報告書提出時には提言に相当する問題が生じているため、検討所見を参照し、次回の大学評価に向けて改善に取り組むことが求められる。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準2 内部質保証

甲南大学

	提言（全文）	内部質保証の PDCA サイクルを大学全体の中期計画へ結び付けていくサイクルフロー並びにビジョンに基づく戦略及び方針等の点検・評価が不十分であるため、中期計画に基づく改革が内部質保証として機能するよう、改善が求められる。
	検討所見	<p>内部質保証活動と事業計画の様式を統合し、教学と法人の中期計画に基づいた各年度の計画策定及び結果の確認・検証を実施する KONAN-PDCA サイクル様式及び運用方法を取りまとめた KONAN-PDCA サイクルガイドラインを策定し、2023 年度から運用を開始した。</p> <p>この様式及びガイドラインに基づき、前年度 10 月からの事業計画の策定を開始し当年度 4 月には事業計画及び点検・評価計画を策定したうえで諸活動に取り組む仕組みとしている。取り組みの成果については、当年度 3 月に活動報告及び点検・評価結果を取りまとめる仕組みとしており、点検・評価の結果については、内部質保証に関わる諸組織での検討を経て、翌年度 10 月の事業計画に反映する仕組みとしている。このように、中期計画と内部質保証活動が連関する体制を整備し、運用を開始している。</p> <p>改善の完了に向けては、整備した仕組みが適切に機能することを確認・検証する必要があるとしているため、その着実な実施が求められる。</p>
No.	種 別	内 容
2	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	収容定員に対する在籍学生比率について、人文科学研究科修士課程では 0.40、社会科学研究科修士課程では 0.28 と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められる。
	検討所見	収容定員に対する在籍学生比率について、人文科学研究科修士課程では 0.40、社会科学研究科修士課程では 0.23 といずれも低いため、大学院の定員

甲南大学

		<p>管理を徹底するよう改善が求められる。</p> <p>なお、大学評価時に改善課題ではなかったものの、収容定員に対する在籍学生比率が、学部では、理工学部物理学科で1.23、同生物学科で1.21と高く、大学院では、人文科学研究科博士後期課程で0.20、自然科学研究科博士後期課程で0.29と低くなっているため、引き続き学部と大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められる。</p>
--	--	---

<再度報告を求める事項>

なし

<弾力的措置にかかる要件の充足状況>

弾力的措置にかかる要件	前回の評価結果 における提言	改善状況
ア) 基準2「内部質保証」に関し、是正勧告及び改善課題のいずれも提言されていない。	有 (改善課題)	×
イ) 基準4「教育課程・学習成果」に関し、是正勧告が提言されていない。	無	—
ウ) 基準4「教育課程・学習成果」の学習成果の測定に関しては、改善課題も付されていない。	無	—

以上